

社会福祉法人あおば福祉会  
おひさま保育園  
2023年度（第26年度）事業報告

## はじめに

コロナ禍を終えての一年間。マスクのない生活や四季折々の行事を通して、子どもたちと顔を見合わせながら、共に楽しい経験を積み重ねていくことができました。保護者の方々にとっても、本来の歩みを知っていただく一年になり、保育の見通しや安心感につながりました。また、様々な集いを共に経験することで、保護者同士の新たなつながりも生まれ、関係性が広がってきています。地域貢献活動においても、積極的な周知・発信を通して参加者が増加し、人が集う場として、そして子育ての拠点としての役割を果たすことができました。

地震や豪雨などの自然災害への対策として、「安全計画」を策定しました。計画に基づき、毎月の避難訓練の情報開示や保護者参画の引き渡し訓練、防災研修等を行い、危機管理意識を高めるための取り組みを前進させてきました。能登半島地震における支援金や支援物資は、保護者にも呼びかけて被災地に届けることができました。

施設の老朽化に伴い、保育室の床暖房の改修工事を順次行ってきました。LED電気全室更新工事では、大幅な電気代のコストダウンになり、経費削減にもつながりました。今後も運営の安定を両立させながら、経年劣化に対する改修工事を計画的に行い、安全でよりよい保育環境を創っていきたいと思っています。

## 1 こどもの入園状況

定員：90名（3歳以上児54名・3歳未満児36名）

年齢	定員	※障がい児	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	9名		9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
1歳児	12名		12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
2歳児	15名	内2名	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
3歳児	18名		20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
4歳児	18名		18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
5歳児	18名		20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
合計	90名		94	94	94	94	94	94	94	94	94	94	94	94	1128

※豊中市の表記による

## 一時保育事業

利用年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	0	7
1歳児	3	8	18	14	11	16	22	19	21	16	21	17	186
2歳児	4	4	11	9	14	18	21	22	23	12	18	20	176
3歳児以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用延べ人数	7	12	29	23	25	34	43	41	44	33	41	37	369

## 2 保育体制と職員の状況

民間給与改善費適用＝1人当たり平均 10年

令和5年度4月1日現在 正規平均年齢 30.5歳 全職員 41.0歳

正規職員・・・15名

園長1名・副主任1名・保育士11名・栄養士2名

	氏名	年月日	養成校 / 異動先・その他
退職者	川上 真由	令和6年3月31日	

パート職員・・・18名

・常勤パート職員・・・5名

保育士3名・看護師1名・栄養士1名

・短時間パート職員・・・13名

保育士6名・保育補助4名・子育て支援員1名・調理補助2名

## 安全管理・・・・・・・・・・1名

## 嘱託医・・・・・・・・・・4名

小児科	なんばこどもクリニック	難波	直樹	医師
歯科	カワムラ歯科診療所	河村	忠成	医師
眼科	岡崎眼科	岡崎	俊夫	医師
耳鼻科	伊吹耳鼻科	林	伊吹	医師

### 3 子どもの安全と健康・危機管理

- ・「安全計画」に基づき、避難訓練を実施してきました。非常災害時を想定した引き渡し訓練では、保育参観日を活用し、保護者と共にロールプレイング方式の訓練を行うことができました。また、毎月の訓練については、その内容を玄関前に掲示し、保護者への周知を図ってきました。現在、リスクマネジメント委員会を中心に、「業務継続（BCP）計画」の作成・検討を行っています。
- ・二階フロア床暖房の老朽化に伴い、夏季の保育協力日を利用し、全面改修工事（5歳児の部屋を除く）を行いました。寒い冬を迎える前に、子どもたちが快適に過ごせる環境を整備することができました。
- ・とよなか防災アドバイザーの楠木英典氏をお招きし、『防災対策どうしてる？』というテーマで学習会を開催しました。保護者と共に防災意識の向上への理解を深めることができました。能登半島地震における義援金や支援物資を保護者の方にも協力いただき、被災地に届けることができました。
- ・前豊中市保健所所長の松岡太郎氏と月1回の定期訪問の嘱託契約を結び、支援を要する児の発達理解や援助方法について、継続的な学びを積み重ねてきました。また、支援児の保護者を対象にした個別面談を通して助言いただくと共に、他機関との接続や連携を図ることができました。
- ・おひさまっこ保育園にも看護師を配置（体調不良児型）したことにより、両園の看護師が連携しながら、より丁寧に子どもたちの健康管理を行うことができています。また、『身体の日』を設け、子どもたちの健康教育に向けた取り組みを充実させることにもつながりました。

### 4 保護者の願いに応え、こどもと共に育ちあう関係を大切に！

- ・昨年度作成した記念誌（一年間の行事をまとめたもの）を懇談会や実行委員会で活用し、行事の意義や内容について共有してきました。視覚的にイメージできるものがあることで、保護者の見通しや安心につながりました。コロナ禍を終え、行事も平常通り取り組めるようになりました。また、親睦会やサークル活動なども積極的に行われるようになり、保護者同士が関係を広げていく機会になっています。
- ・3年ぶりに給食試食会、新入園懇談会を再開しました。身近な距離で保育園を知っていただける場を設けることができ、保護者にとっての安心感につながりました。
- ・『デジタル社会と子どもの発達』（講師：NTT 情報技術推進ネットワーク取締役・嶋田氏）のテーマで保育学校を開催しました。スマホや SNS などの付き合い方についての学習は、保護者のニーズも高く、今後の子育ての見通しにつながりました。
- ・前身の『おひさまバザー』から『おひさまカーニバル』へ移行し、初めて日中に開催。大盛況のうちに終わることができました。意図的に時期を春にし、ワークショップを中心にした取り組みにしたことで関わりが生まれ、特に新しく入園された保護者にとっては関係づくりの第一歩になりました。
- ・宮本郷子先生（元小学校教諭・龍谷大学非常勤講師）に来ていただき、『教育カフェ』を行いました。主に卒園児の保護者を対象にし、発達で気になること、小学校進学後の悩みや不安について交流を行い、今後の見通しや安心感につながりました。

### 5 こども達が地域の中で育つことを大切にした地域活動をめざして（おひさまっこ保育園と連携）

#### ①地域の親子活動「あそぼう会」

- ・地域の園庭開放「あそぼう会」については、園に在籍するスマイルサポーターが中心になり、活動内容の充

実やニーズ把握のための会議を積み重ねてきました。また、園内掲示物やチラシ、豊中市の子育ち・子育てアプリ等を活用し広報・周知に努めてきました。昨年度の参加者は年間を通して0人でしたが、2023年度は年間で96人の参加者があり、地域の子育て支援の場として貢献することができました。（詳細は「3. 地域活動報告」参照）また、これを機に一時保育の利用や入所にもつながってきています。

## ②高齢者福祉連携

- ・引き続き社会福祉協議会と連携し、介護予防体操やオレンジカフェ（認知症の方とその家族の交流の場）、地域の独居老人を対象としたお弁当の配布の拠点として、場所の提供を行ってきました。
- ・年間10回配食サービスを実施し、延べ97食を5歳児の子どもたちと共に地域の高齢者に届けることができました。3月の実施日には「おひなさまのつどい」として、地域の高齢者を保育園に招き、子どもたちと交流を図りました。給食も一緒に食べることができ、共に喜び合う時間になりました。
- ・3年ぶりに開催された熊野田公民分館の体育祭に「夕日丘1丁目チーム」として職員も参加し、地域の方とのつながりを持つことができました。

## ③子どもの居場所づくり

- ・子どもの居場所づくり『おひさまの家』は、放課後子どもクラブ後の生活保障の場として4年目になり、定着してきました。2023年度は7人（小学1年生～3年生）の利用がありました。簡単なおやつ作りや買い物体験も行い、生活力を高められるよう内容を充実させてきました。
- ・小学校が夏休みの期間に、卒園児（高学年）を対象とした「おひさまクラブ」（3回）を実施し、9人の参加がありました。ボランティアの方にも関わっていただき、昼食づくりや裁縫活動（お弁当袋づくり）に取り組みました。

## ②幼保こ小連携・他機関連携

- ・対面での幼保こ小連絡会が開催され、小学校接続に向けた取り組みについて交流や合同研修会が行われました。また、子どもたちの交流として、音楽会の見学、小学校体験入学も実施することができ、就学に向けての期待や見通しにつながりました。
- ・支援を要する家庭（モニタリング対象児）に対して、こども安心課や子ども家庭センターなど、地域の機関と連携を図りながら、継続的な子どもの見守りと保護者支援を行ってきました。

## 6 職員の資質向上をめざして

- ・「美術」「わらべうた」「運動あそび」「リズム運動」の4つの専門員会を立ち上げ、実践検討とふり返りを積み重ねてきました。職員一人ひとりが得意分野を伸ばし、組織的な保育技術の向上につながってきています。
- ・研究者にも参画していただき、ビデオ検討や場面記録をもとに保育実践の交流を行ってきました。そのことを通して、子ども理解と保育の手立てをつくり出すことができました。
- ・豊中地域の交換研修を行い、お互いに保育の質を高め合ってきました。北支部法人研修では、三年ぶりに対面での研修を行い、他園の職員同士が交流することもできました。
- ・若手職員（経験年数1～3年）の面談を定期的（年4回）に行ってきました。日頃の悩みや個々の課題を共有する時間になり、職員の心のケアや安心して働くことにつながっていると感じています。
- ・第55回全国保育団体合同研究集会（福島）で、千田篤が「働くことと子育て」の分科会で提案をしました。

## 7 中長期計画に関して

### ・2023年度実施事業

<ひと>

- ・キャリアアップ研修の受講を積極的にすすめてきました。副主任・専門リーダー・職務分野別リーダーが必要分野の取得を終えました。今後は配分対象者の研修取得有無の確認と、計画的な受講を行っていきます。

<もの>

- ・施設の老朽化に伴い、改修工事、及び備品の買い替えを行いました。内容については以下の通りです。
  - LED 電気全室更新工事（日研電気） 3,300,000 円
  - 2階フロア床暖房改修工事（関西ハウス） 5,720,000 円
  - 事務所の給湯設備改修工事（ビティアー） 561,000 円

<こと>

- ・現在の社会状況を鑑み、ホームページ更新に向けた議論をはじめました。北支部の各園でホームページ担当者を置き、スマホ対応や採用情報の見える化、個人情報保護強化等の内容充実を図り、完成させていく予定です。

## 8 その他添付資料

### 1. 年次有給休暇取得状況

	正規職員		パート職員
	本年度分	累積	本年度分
① 平均保有日数	17日	29.8日	13日
② 平均取得日数	14.75日	15日	12.8日
取得率 (2/1)	86.8%	50.4%	99%

### 2. 職員研修一覧

研修の名称 研修の内容	参加研修名
<b>施設長研修</b> (人事・労務・経理・制度等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第28回社会福祉研究交流会</li> <li>・第2回全国福祉経営研究交流会</li> <li>・第34回公立保育園園長・主任・中堅セミナー</li> </ul>
<b>保育士等キャリアアップ研修</b> (保健衛生・安全対策/食育・アレルギー等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度大阪府保育士等キャリアアップ研修 【乳児保育】【幼児保育】【障害児保育】【食育・アレルギー対応】</li> </ul>
<b>人権研修</b> (府・市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊中市課題別研修「不適切保育の防止と働き続けられる職場を考える」</li> </ul>
<b>保育士研修</b> (自治体・社協・保育士会・他)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢別保育講座 0歳児/1歳児/2歳児/3歳児/4歳児/5歳児</li> <li>・第62回全国保育問題研究集会（仙台）</li> <li>・第55回全国保育団体合同研究集会（福島）</li> <li>・第39回夏季セミナー「日常のなかの科学と子ども」</li> <li>・第19回主任セミナー（豊橋）</li> <li>・豊中市幼保こ小連絡協議会 夏期研修</li> <li>・新任保育者研修</li> <li>・みんなで保育子育てを考える集会</li> <li>・保問研秋の研究集会</li> <li>・大阪音楽教育の会</li> <li>・21世紀を生きるあなたとわたしの発達保障</li> </ul>
<b>支援児研修</b> (障がい・支援の理解)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊中市障害児保育研修</li> </ul>

リスクマネジメント研修 危機管理・防災等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府保育所等の事故防止研修</li> <li>・災害時の乳幼児支援</li> <li>・就学前施設における深刻事故予防ポイント</li> <li>・入所施設における給食BCPの導入について</li> <li>・救命救急研修</li> </ul>
保健研修 性教育・感染症予防等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第10回子どもの命を考える集会</li> <li>・第2回保健交流会「感染症の流行状況と対策について」</li> </ul>
法人研修 (歴史・制度・人権・保育内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他園研修</li> <li>・北支部法人研修 「新人研修～仲間と共に語り合い、学び、楽しい保育を」</li> <li>・北支部法人研修 「ある小児科医が診た『発達障がい』～子どもの人権を考える～」</li> <li>・北支部法人研修 「歴史に学び、歴史をつくる」</li> <li>・南支部法人研修 「HIRO ライブ」</li> <li>・文化を学ぶ わらび座研修 (秋田)</li> </ul>
自主研修 (分野別)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修 わらび座 民舞指導</li> <li>・園内自主研修「保育実践から子どもの内面と発達理解を」(年3回)</li> <li>・園内自主研修「0歳児クラスの環境と乳児の手の動き」青井t (年2回)</li> </ul>

## 2. 地域活動報告

日程	参加人数	内 容
4月～2024年3月	28人	園庭開放
5月	12人	製作あそび
7月	14人	プールあそび
9月	4人	乳児の食育
11月	20人	リズム・わらべうたあそび
12月	10人	クリスマスお楽しみ会
2月	8人	親子クッキング

## 4. 実習生・ボランティア受け入れ報告

### <実習生>

	実習養成校	学校種別	期間	実習日数	受け入れ人数
1	梅花女子大学	大学	2023. 8. 21～9. 2	11日	2人
2	甲南女子大学	短期大学	2023. 8. 21～9. 2	11日	1人
3	株式会社ポピンズ	子育て支援員養成	2023. 9. 19・20	2日	1人
合 計				24日	4人

### <ボランティア>

紹介機関名	参加者		期間	受け入れ日数
	年代	延べ人数		
	小学生	55人	2023. 7. 25～8. 24	18日
延べ人数	55人		延べ受け入れ日数	18日